

サービスを提供する生態系

右のイラストには、生態系を人間の都合で見たときのキーワードである生態系サービス（詳細は3.15節参照）で見た生態系のイメージが描かれています。近年、埋め立てなどでめっきり減ってしまった干潟が例となっています。

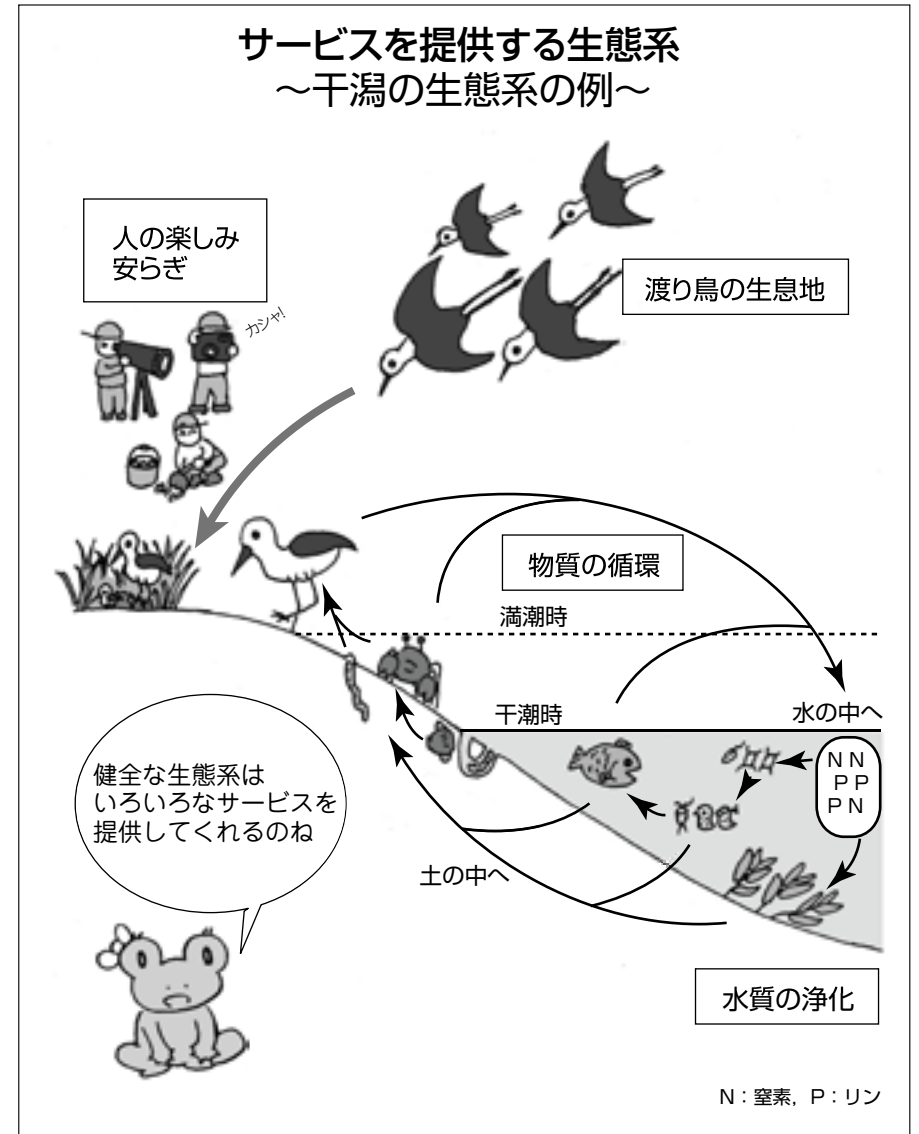
私たち人間は、生態系の働きによって提供されるさまざまなサービスを、意識的、無意識的に利用しながら生活しています。生態系サービスとは、生態系の機能を通じて直接的、間接的に私たち人間にもたらされる物質的、精神的なあらゆる便益をさします。人間の幸福で安寧な生活にとって欠かせない生態系サービスが過不足なく提供される生態系は、私たち人間から見て「健全な生態系」であるといえます。

干潟には、陸側から富栄養化した水が流れ込みます。満潮時には、水中から泥へと有機物、窒素やリンを含む栄養物質などが取り込まれます。干潮時には、栄養分に富んだ泥をゴカイ、貝類、カニなどが食べます。その死骸や排泄物が分解されて再び水に溶け込むことにより、物質循環が進みます。その過程で、栄養物質がこれらの動物の体を構成する養分となって水から除かれたり、さらにこれらの動物を干潟に群れる鳥が食べることで、干潟から栄養物質が持ち出され、水が浄化されます。

干潟の水質浄化の働きを浄水施設をつくって人工的に代替しようとするれば、建設費や稼働のための費用など、大きなコストがかかります。そこで生活する多様な生物の連携プレーによって物質循環と水質浄化が担われている干潟の価値は、人工的な浄水施設に匹敵するか、それ以上のものといえるでしょう。

干潟は、さらに多様な生態系サービスを提供しています。渡り鳥に繁殖地や越冬地を提供し、バードウォッチングの楽しみを人々に与えてくれます。干潟の生き物は、潮干狩りなどのレクリエーションの機会も提供します。また、広々としたその空間をながめるときの爽快感^{そうかいかん}は、日ごろの疲れをいやしてくれるに違いありません。

人工的な浄水施設は、水質浄化の機能だけを代替してくれますが、生態系は、このように多様なサービスを同時に提供してくれます。ただ、そのありがたさは、それが失われてはじめて気づかれるのが普通であり、生態系の不健全化は、



多くの生態系において急速に進んでいます。干潟もその多くが埋め立てられて、かつて人々が享受した多様なサービスが失われました。